

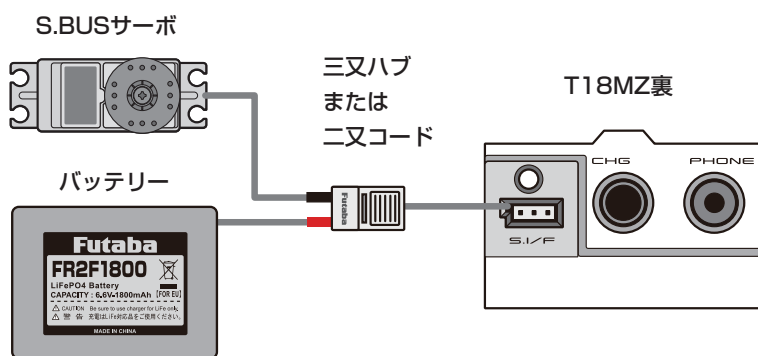
18MZで簡単シンプル接続

18MZ送信機裏側のS.BUSコネクタにS.BUSサーボを接続することで、従来はパソコンが必要であったS.BUS機器の設定が送信機画面上で行えます。

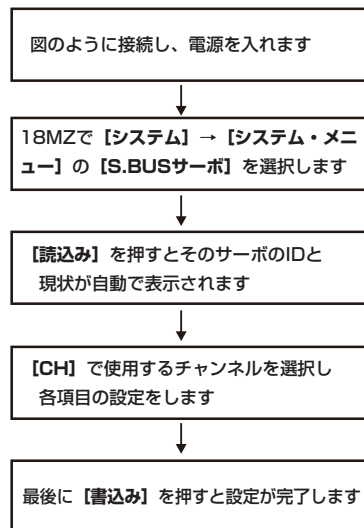
18MZのS.BUS接続例 S.BUSレシーバー+S.BUSサーボを使用する場合

S.BUSサーボの設定(サーボ一つの場合)

S.BUSサーボはサーボ自身でチャンネルの他、各種設定を記憶することができます。
図の様ように配線するとT18MZの画面上で、各サーボの設定ができます。



S.BUSサーボ設定方法(サーボ一つの場合)



使用するチャンネルの設定

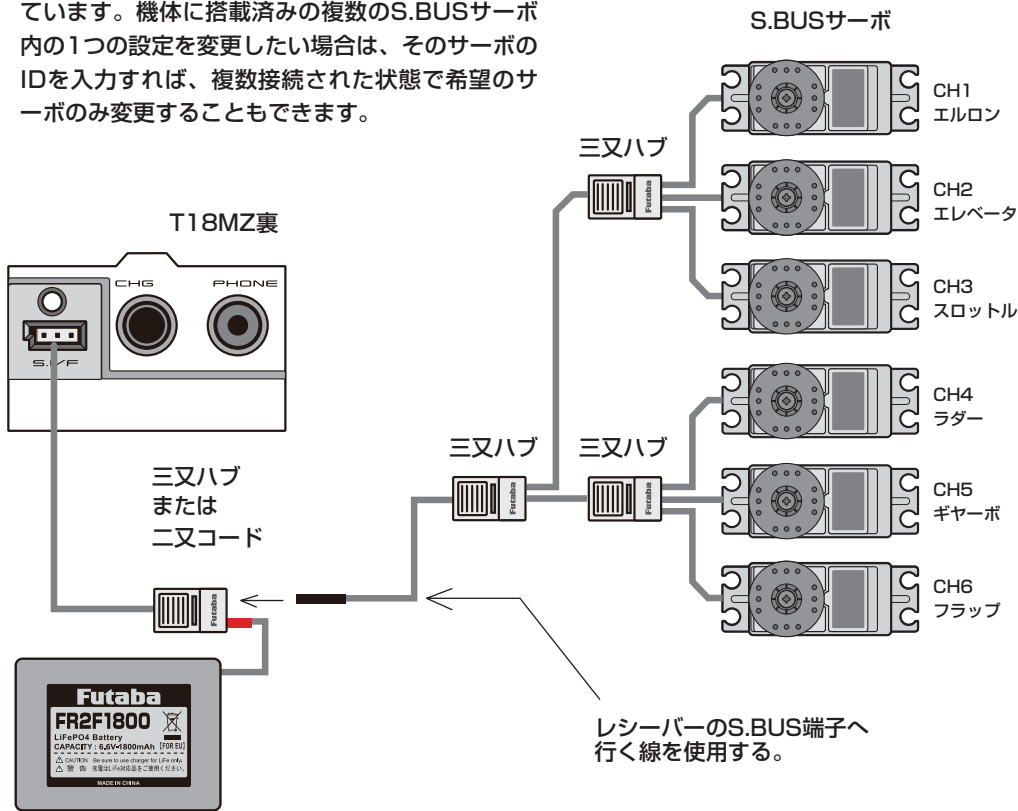
使用するサーボのID
単品接続ではIDが自動で表示

INHにする

S.BUSサーボ		Model1		読み込み 67%	
CH	1	ID	0 0	左	右
リバース	ノーマル	サーボタイプ	ノーマル	100.0%	100.0%
スムーサー	OFF	ブースト	158.6us	スピード・コントロール	
ソフトスタート	OFF	ニュートラル	オフセット +0.00度	20ms	
ストップモード	フリー	デッドバンド	0.16度	ダンパー	
				23.04%/度	

複数のS.BUSサーボ接続又はリンケージ済みの場合

S.BUSサーボにはそれぞれIDナンバーが記憶されています。機体に搭載済みの複数のS.BUSサーボ内の1つの設定を変更したい場合は、そのサーボのIDを入力すれば、複数接続された状態で希望のサーボのみ変更することもできます。



S.BUSサーボ設定方法 (サーボ複数の場合)

図のように接続し、受信機の電源を入れます

18MZで【システム】→【システム・メニュー】の【S.BUSサーボ】を選択します

複数のサーボを同時に接続し、画面のIDナンバー右側にある【INH】を【ON】にします

設定したいサーボのCHとIDを入力し、【読み込み】を押して各項目の設定をします

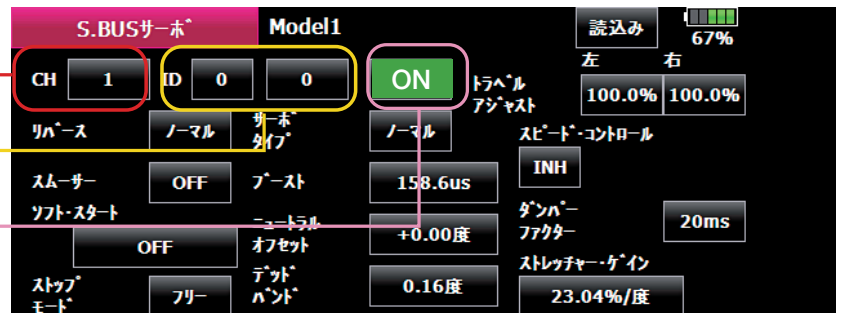
最後に【書き込み】を押すと設定が完了します

※設定したいサーボのIDを事前に必ず控えておいて下さい。

使用するチャンネルの設定

使用するサーボのID

INH→ONにする



※S9070SBは18MZでの使用はできませんが、画面ソフトには対応していません。(PC対応)